

HSK

わたち

—全国筋無力症友の会道支部—ニュース—

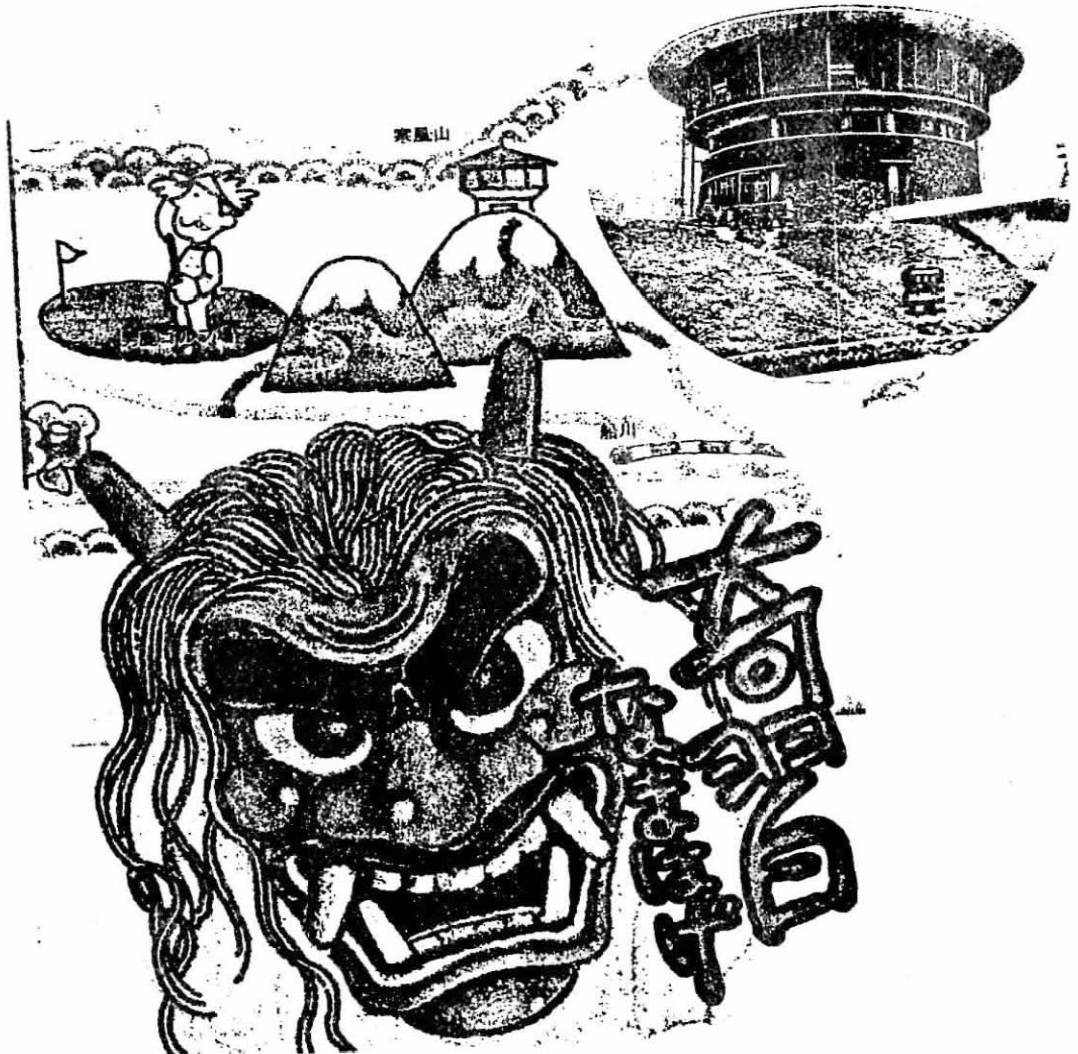
編集人 全国筋無力症友の会道支部
〒064 札幌市中央区南4西10
北海道緑病センター内

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市北区北13西1 神原義博

昭和48年1月13日第3種郵便物認可H8K通巻201号

平成元年7月10日発行(毎月1回10日発行)

わたちに 70 1部 50円



も く じ

1. 平成元年度定期総会の報告 - - - - - 1~13
2. 会費納入のおねがい - - - - - 14
3. 15周年記念誌代のご送金のお願い - - - 14
4. 第18回全国総会出席報告“秋田への旅” - 15~20
5. みんなのひろば - - - - - 21~22
6. 第16回難病患者・障害者と家族の
全道集会へのおさそい - - - - - 23~24
7. 事務局からのお知らせ - - - - - 25

全国筋無力症友の会北海道支部

平成元年度定期総会

平成元年5月13日

プログラム

13:00 <総会>

- 開会のことば
- 支部長挨拶
- 議長選出
- 議事
 - 1) 昭和63年度活動報告
 - 2) 〃 決算報告
 - 3) 〃 監査報告
 - 4) 平成元年度活動方針(案)
 - 5) 〃 予算(案)
 - 6) 〃 役員改選
 - 7) その他

14:30 <医療講演会・医療相談会>

- 演題 「筋無力症の治療と療養」
- 講師 国立療養所札幌南病院 神経内科
島 功二先生

- 閉会のことば

18:00 <夕食会・交流会>

議案(1)

昭和63年度の活動をふりかえって

<情勢>

科学技術の進歩と医学のたゆまない研究に支えられて、筋無力症の治療法は年毎に前進が見られ、明るい希望が見出されるようになりました。

しかし、一方では財政上から医療費抑制や福祉予算のきりつめ、各種負担の増額・制限の強化など、矢つぎばやに私たちの生活をおびやかす条件が続出してあります。

この様な情勢をただ静観しては医療、福祉の後退はそのとどまるどころを知りません。今こそ友の会活動の重要性を再確認し、組織活動の充実と拡大をはかり、運動を前進させなければなりません。

<北海道難病連・全国筋無力症友の会(本部)、全国患者・家族団体協議会(J.P.C.)との関わりの中で>

筋無力症友の会北海道支部独自の活動は、主として会員組織の内に向けての活動となります。そうしてこの友の会活動こそが、すべての活動の母体であり、それ自体欠くことの出来ない重要なものであり、果たす役割の大きい事は申すまでもありません。

しかし、私たちの求めている事を政治に反映させ、行政を動

かすには余りにも非力であります。それには、より大きな組織力が要求されます。国政レベルでの課題解決には全国的な強大な組織で臨まなければなりません。

○ 北海道難病連の構成団体として

私たちの支部は北海道難病連の中にあつては「筋無力症部会」として、難病連の事務局をはじめ理事・評議員・その他の委員を送り出し、難病連の中心的な団体としてその役割を果たしております。

全国に例を見ない難病センターの設置は難病連の活動内容と共に全国的に注目されているところであります。また昨年の活動では後縦靭帯骨化症の認定問題で多大の成果を収めた事は、持筆すべき業績であります。

○ 全国患者・家族団体協議会(J.P.C.)に対して

また、北海道難病連はJ.P.C.の構成団体として医療と福祉の向上、改善に向けての国会請願行動をはじめ、各種の活動を続けております。

○ 全国筋無力症友の会(本部)との関わりの中で

全国運営委員会と全国大会(今回は東京)に代表を送り、遠距離という悪条件(出席者の自己負担増大)の中で成し得る最大の努力をもって、他支部と協力してその役割を果たしています。

<支部の活動>

○ 昭和63年度 活動の特色

① 相談件数 30件(昨年度26件)

従来の相談件数を大きく上まわった昨年度の記録を更新しました。友の会の存在が一般に知られ活動内容が機能しはじめた為と結論づけらるのは早計でしょうか。

② 新入会員 10名(昨年度17名)

新しい患者さんばかりでなく、罹患して何年も経った方も入会されました。

③ 会費納入状況 71%(昨年度80%)

昨年度の納入実績に達しませんでした。どうしてでしょうか。

④ 支部結成「15周年記念誌」の発刊

期待と注目を集めた記念誌が多くの費用と労力を費してやっと完成しました。マスコミや関係機関・団体・会員の支援と協力によって友の会の理解が拡大した事は費用と労力には代え難い成果があったものと思います。

⑤ 函館地区の組織強化

友の会支部の所在地(札幌)から距離かはなれるに従って会から受ける恩恵や医療の先端技術からも遠ざかり勝ちとなる事は避けることが出来ない現状にあります。

中央と地方の差をできるだけ縮めるために地区活動の振興が大切になります。地区活動の振興によって医療や福祉の向上を促すことができますし、友の会活動の充実発展につながります。

昨年函館地区に連絡員が置かれ、難病連函館支部の活動にも加わる事になった事は、友の会活動の発展として位置づけることができます。

⑥ 機関誌「わたち」の発行 年間4回(予定完了)

⑦ 支部総会 5月15日(車中総会)

桜の名所：静内の観桜会を兼ねての支部総会でした。大変好評でした。今後の友の会行事を実施する上で大いに参考になります。

⑧ 支部大会・医療講演会 7月31日 出席 15名

難病連全道集会(7/30)の後とうけて

翌日の31日に難病センターで開催

講師 国立療養所札幌南病院・神経内科

丸尾泰則先生

- ・ 筋無力症を悪化させる薬剤
 - ・ 療養上の留意点
 - ・ クリーゼについて
- 持に関心をひいた内容

⑨ 新入会員のつどい 3月13日

実施2年目をむかえたつどい。

新しい顔は3名と他に家族、顔馴染みの役員により開催された。他の行事と違って少人数で親近感あふれたつどいが
特長。

⑩ 難病連の中で取り組む行事。

- ・チャリティーバザー・・・例年を上回る実績をあげました。
- ・チャリティークリスマス・・・会場の確保ができず中止。
- ・「百万本のバラ」コンサート・・・大きな感動の渦巻く中で大成功を収めました。

1988年度

部会決算報告書

自:1988年 4月 1日

至:1989年 3月31日

部会名 筋無力症部会

収入の部

科 目	88年度予算	88年度決算	備 考
会 費 取 入	248,000	339,700	年間3000円
賛助会費取入	40,000	44,000	一口1,000円
上部団体助成金取入			
配分交付金取入	692,000	692,500	道補助金
参加費取入	15,000	112,700	総会・大会他
寄付金取入	80,000	30,162	12名
協力会還元金取入	50,000	54,500	一口2,000円
募金箱還元金取入	20,000	12,463	
署名募金還元金取入	5,000	11,010	
販売事業取入	80,000	62,193	5月分他 41,155円 単巻 21,038円
その他の事業取入	600,000	454,500	15月分記念誌 302冊 X1500 ^①
受取利息取入		351	
雑 取 入	4,320	1,500	
前期繰越金	105,620	105,620	
収入合計	2640,000	1920,699	

支出の部

科 目	88年度予算	88年度決算	備 考
会 議 費	240,000	125,485	
役員会費	80,000	51,970	9回開催 会談室・交通費他
中央会議費	150,000	123,515	本部総会
難病連参加費	10,000	-	
事 業 費	1240,000	991,205	
総会・大会費	50,000	202,175	総会168,200円 大会53,955円
医療講演会	50,000		
検診相談会			
機関紙・誌費	20,000	57,324	4回発行
指導パンフ			
研 修 会			
療育・交流会費	150,000	90,664	36回交流会 80,372円 新入会75,18,222円
実態調査費			
地区育成費	40,000	10,110	旭川地区
相談員補助	50,000	38,306	電話・切手・交通他
活 動 費	30,000	41,240	X-70-J 電報 巻典・IPC他
15周年記念誌	800,000	420,000	印刷代1,820,000 内4,000,000 紙
経費		131,386	交通他 JF-切手代他
負担金	487,800	487,800	
全国会負担金	228,800	228,800	145 X 1800 X 20% 本部会と
難病連維持会費	277,000	277,000	難病連加盟費
H・S・K	2,000	2,000	負担金
維持運営費	72,200	66,047	
事務局費	20,000	26,267	事務用品・JF-他
通信交通費	40,000	34,960	切手・電話・交通他
資 料 費	10,000	4,820	本他
雑 費	2,200		
積立金支出			
予 備 費			
次期繰越金		180,162	(前年度他 32,500 現 積 郵 142,850 22,702 105,245 96,700 17,225)
支出合計	2040,000	1920,699	

議案(3)

全国筋無力症友の会北海道支部
昭和63年度 会計監査報告書

上記の件について、厳正なる監査の結果、適正であることを
報告いたします。

平成元年5月8日

会計監査

下 藤 栄



伊藤 かすみ



議案(4)

平成元年度の活動方針(案)

- 全国筋無力症友の会本部、北海道難病連、日本患者・家族団体協議会と共に平和で豊かな社会の創造を固めて頑張ります。当面、社会保障の後退をくい止める運動に参加し、北海道の医療と福祉の発展のために、力を合わせて頑張ります。
- 一人で悩んでいる患者をなくし、全ての患者が最も進んだ治療が受けられるよう、地域活動の振興にも、つとめましょう。
- 機関誌「わだち」の発行を通じて多くの患者・家族とのつながりを強めましょう。また会員数の拡大につとめましょう。
- 一人ひとりの会員が心のつながりを深めるために、地域での小さな集まりやレクリエーションを計画して見ましょう。
- 難病連協力会の会員加入運動を進めましょう。一部が友の会に還元されて会の活動を強める事になります。

1989年度

部会会計予算書

自: 1989年 4月 1日

至: 1990年 3月31日

部会名 筋無力症部会

■ 収入の部

科 目	88年度予算	89年度予算	備 考
会 費 取 入	248,000	248,000	$3,000 \times 145 \times 80\%$
賛助会費取入	40,000	40,000	一口 1,000円
上部団体助成金取入			
配分交付金取入	692,000	713,000	道補助金
参加費取入	15,000	50,000	支部総会也
寄付金取入	80,000	50,000	
協力会還元金取入	50,000	80,000	一口 2,000円 難病連協力会
募金箱還元金取入	20,000	15,000	難病連募金箱
署名募金還元金取入	5,000	15,000	
販売事業取入	80,000	80,000	お正月飾り也
その他の事業取入	600,000	300,000	15周年記念誌売上 ^① 1500 × 200 ^冊
受取利息取入			
雑 取 入	4,380	3,838	
前期繰越金	105,620	190,162	前年度上 ^② 32,500 現金 2,700 20% 96,700 (記念誌) 現金 2,700 20% 105,245 (2,500)
収入合計	2,040,000	1,885,000	

■ 支出の部

科 目	88年度予算	89年度予算	備 考
会 議 費	240,000	230,000	
役員会費	80,000	70,000	交通上、会議室代、コピー代也
中央会議費	150,000	150,000	全国総会、全国理事委員会
難病連参加費	10,000	10,000	

■ 支出の部


科 目	88年度予算	89年度予算	備 考
業 務 費	1,240,000	1,050,000	
総会・大会費	50,000	50,000	
全道集会参加費	50,000	50,000	
医療講演会			
夜診相談会			
機関紙・誌費	70,000	70,000	
指導パンフ			
研 修 会			
療育・交流会費	150,000	100,000	(帯元) 宿泊料、交通上補助也
実態調査費			
地区育成費	40,000	40,000	旭川、函館
相談員補助	50,000	50,000	電話、交通上、他
活 動 費	30,000	40,000	慶弔費、TFC也
15周年記念誌	800,000	630,000	印刷代
15周年" 贈答		20,000	切り、コピー也
負 担 金			
全国会負担金	487,800	489,000	
難病連維持会費	208,800	210,000	本部会也
H・S・K	277,000	277,000	277,000円
維持運営費	2,000	2,000	他科才三種郵便負担金
事務局費	70,200	100,000	
事務局消費品費	20,000	30,000	コピー也
通 信 費		10,000	事務局用也
交 通 費	40,000	40,000	切り、電話、交通上
資 料 費	10,000	10,000	本代也
雑 費	2,200	10,000	
積立金支出			
予備費		16,000	
次期繰越金			
支出合計	2,040,000	1,885,000	

議案(6) 平成元年度 役員改選 (案)

- 支部長 猪口 英武 (機関誌編集委員長・~~難~~評議員)
- 副支部長 鎌田 毅 (全国運営委員・~~難~~理事)
- 事務局長 東谷美智子 (機関誌編集委員・~~難~~評議員
事業資金委員)
- 会計監査 下広 栄
- 〃 室谷えみこ
- 運営委員 伊藤たてお (~~難~~理事・事務局長)
- 〃 玉井よしえ (会計)
- 〃 竹村 慶子 (~~難~~事業資金委員)
- 〃 鈴木恵美子 (~~難~~合同レク実行委員)
- 〃 高田 淑子 (機関誌編集委員・~~難~~評議員)
- 〃 工藤 祐子 (~~難~~合同レク実行委員)
- 〃 中道 和子
- 連絡員(旭川地区) 滝田 清市 (~~難~~理事・旭川支部長)
- 〃 秋葉みどり
- 〃 谷 隆子
- 〃 (釧路地区) 沢口 象子
- 〃 (早来地区) 成田 庄次 (~~難~~評議員・早来支部事務局長)
- 〃 (帯広地区) 谷 竜一 (~~難~~帯広支部役員)

- ゝ (阿寒地区) 佐々木昌子 (●阿寒支部役員)
- ゝ (北見地区) 成田 あき (●北見支部役員)
- ゝ (空知地区) 新出 静子
- ゝ " 林 麗子
- ゝ " 長谷川ムツ子
- ゝ " 山田 和美
- ゝ (函館地区) 三品奈々子
- ゝ () 大沼美恵子


ほなび
(花火)



ススキ・スパークル・センコ花火などが入ってる低学年向き
縁先でも遊べる楽しいセットです。

チャイルドセット 特価¥500


↑



打上げ花火も入ってる高学年にも向くセットです。

銀河セット 特価¥1,000

↑



パラシュート、打上、五重塔、フンスイ、花車等々、楽しい
ものばかり。海や山へのキャンプに持っていきのに最適
なセットです。

ジャンボセット 特価¥2,500

—— 平成元年度行事計画 ——

- 4月 「わだち」発行 ①総会
- 5月 支部総会
全国総会
- 6月 「わだち」発行 ①合同レク
- 7月
- 8月 支部大会・医療講演会 ①全道集会
- 9月 「わだち」発行 秋の親睦会
- 10月
- 11月
- 12月 「わだち」発行 ①チャリテークリスマス
- 1月 新会員のつどい
- 2月
- 3月 ①チャリテーパーカー

会費納入のおねがい



全国本部から出されておりました会費の値上げ案は、5月27日の全国総会(秋田)で今年度は見送られる事に決定されましたので、従前どおり年会費3,000円です。

今年度分会費をまだ納めておられない方については、出来るだけ早目にご送金くださるようお願いいたします。

15周年記念誌代金のご送金 おねがいします

準備を含めて3年の歳月を費して昨年末に完成しました記念誌はいかがでしたでしょうか。皆さんから頂いた原稿が製本されてお手許に届くまでに時間の開きがあり、焦点ぼけを感じる面も出てしまいましたが、文面を通してお互いの交流がなされた事と思います。

記念誌発行の新聞報道によって友の会のある事を知り、入会された方、難病の相談に来られる方などがあった事を思うと、記念誌内容は免も角としても、発行してよかったと思っています。お金に替えられない貴い物があった事がわかりました。

送本してから半年になり、多くの方から送金をいたないておりますが、まだ $\frac{1}{3}$ の方が未納になっています。これについても出来るだけ早くご送金下さるようお願いいたします。(1,500円)

秋田への旅

(第18回全国総会出席)

高田 淑子

○55 7年ぶりの旅、はじめての全国大会出席。

秋田での大会に参加しようと言われても、中々ふんぎりのつかない私でした。

夜11時30分「ミッドナイト号」JRの寝ている間に目的地につくとい列車(毛布と枕があります)にのりこみました。(女性専用室もあります)

猪口さん、伊藤さん、東谷さん、竹村さん、中道さん、鈴木さん、村本さんと私の八人です。

○56 朝6時30分に函館着——7時26分津軽海峡線にのりかえ色々海底トンネルです。アナウンスがあり、トンネルに入りましたが、そこは単なる暗やみ、しかし、「ここが世紀の海底トンネルだ」と思うと感がい深く、吉岡海底駅、竜飛海底駅の灯りをみるだけでしたが、ジーンとくるものがありました。

トンネルを出ると生まれて始めて? 釜田(青森県)駅——青森駅——ここで新潟行きの列車にのり替え一路秋田へ。

車窓から主として、農村と山、家には桐があり、紫の花が印象的でした。

又、北海道ではみられない、野生の蕨がどこどこに咲き、うつぎの花も数多くみられました。

12時30分秋田駅につく頃少し雨が降り出して来ました、車で指につきやれやれです。

一休みしたあと、みずほの食堂で「^{いわし}箱庭うどん」というのを食べました。こしの強いボリュームのある感じでおいしかったです。

この間(指について夕方出かけるまでの間)私は50年前前に養女として、秋田に来ていた従姉に逢いました。

川ばい時の記憶をたどりながら、懐しく語りあえました。

このこともあり、秋田へ無理して出かけて来た甲斐がありました。

伊藤さんの案内で市内へ出かけました。

「私設・平野政吉美術館」へ行きました。名前は知っていましたが世界的にも有名という「藤田嗣治(レオナルド・フジタ)」のコレクションがあり、中でも「秋田の行事」という絵は(3.65m x 20.5m)の大型で側でみるより、二階からみた方がよく見えるいうもので圧倒されました。

そのあと、秋田の有名な飲食店街、^{伊藤さん}「きりたんぼ」を食べたいねと行ったのですが、时期的に扱っていないとかで「しゃっふる鍋」と秋田の銘酒で、夕食をとりました。

5/27 午前中、自由なので地元のデパート「^{7の35}木崎」へ出かけ、秋田みやげを購いました。

宿にもどると、全国から続々とつめかけており、同道の皆さんも、顔なじみの人たちと挨拶をかわしあっており、ファミリーな疑問文に驚きました。

午後一 全国筋無力症友の会 全国総会 於みずほ(芙蓉の間)

第一部 開会・講演

第二部 記念講演 宇鹿野Dr. 加賀谷Dr. 慶田Dr.

第三部 体験発表 地元の主婦人
台湾の女性

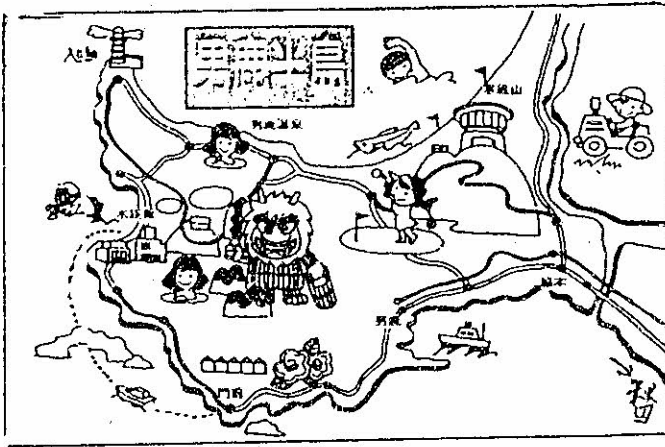
第四部 医療相談会 上野Dr.による解答

第五部 交流夕食会 (桔梗の間)

詳細については本部発行の希望でござらん下さい。

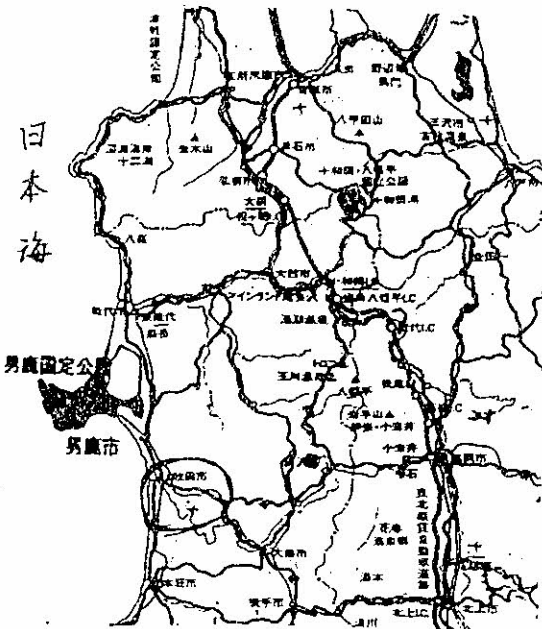
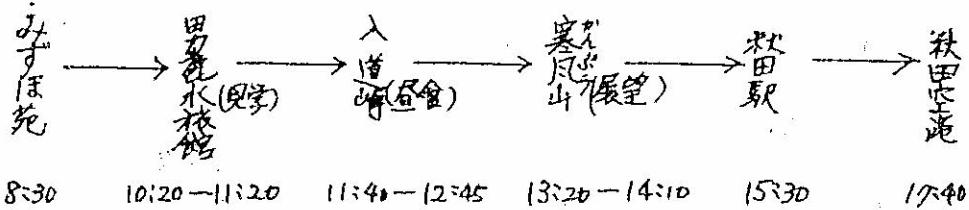
※ 交流会では、昨夜食べられなかった「キリタンボ」も出て満足でした。(秋田支部からのお菓子つめ合せ、やさすぎ茶たくのプレゼント)
又地元の民謡の会の人たちによる「秋田民謡」をまかせて頂き、和やかな会合でした。

5/28 観光(男鹿半島めぐり)



バス2台に分乗して
出発しました。

- (北海道 8人)
- (栃木 1人)
- (埼玉 3人)
- (長野 2人)
- (大坂 8人)
- (京都 1人)
- (九州 1人)
- (秋田 2号車に5人)



- ・海峯線の美しさ
名づけられた岩の数々
- ・男鹿水滝館おきには、
秋田沖地震のとき亡くな
った児童たちの碑が立っ
ておりました。
- ・入道崎では、須賀、さざえ等
海の幸が一杯い
- ・寒風山展望は椅子に坐
って回転するので楽ちん
でした。
- (秋田支部の人たちに感謝)

秋
回
あきた

産物

- ・秋田米 — お酒
- ・秋田杉 — 木材、やす杉細工
- ・^{かば}桜皮細工 — 文箱や花立て等
- ・やきもの — くいのみ
- ・秋田犬

たべもの —

- ・しょつつる鍋 (ハタハタ)
- ・きりたんぼ (もち米のかぼこ)
- ・いぶりがっこ (たみ ^{たみ} 巻のくんせい)
- ・じゅんさい
- ・^{いかにわ}箱庭うどん
- ・諸氏 (もちこし) ・鯛
- (あすきの打菓子) ・さざえ

行事

- ・なまはげ (男鹿地方)
- ・かまくら (横手市)
- ・竿灯祭り (秋田市)



秋田のことは

(ガイドさんより)

- ・おら、おめどこしんだけすぎだ
(私は、あなたのこと 死ぬ程 好きよ)
- ・「どさ」「ゆさ」
何處へ行く お湯(お風呂)へ行くの
- 「ケ」の三役活用
・ 食え(ケ) かゆい(ケ) 呉れ(ケ)

感激を詩に誌して

村本ミヤ

(全国筋無力症友の会出席)

。同じ枝に連らなることこのよろこびに
連体感あり 友の会総会

。難病の山河越え来し人々の
集い会う日は 胸あつくして

。南北の細き日本列島に
友垣つくる わが友の会

(始めての 青函海底トンネルをゆく)

。青函のトンネルを汽車はひた走る
危機感もなく 吾が老いの旅

。海峡のうみは慌れども底走る
列車は今し トンネルを出ず



函館市 山崎美津江さん

いつも、わだちを有難うございます。今回の総会や交流会に参加できないのが残念に思います。皆様とのふれ合いが身にしみて有難たく思う次第です。 良きアドバイス、又は人と人のふれ合いに、皆様に少しでも近づく様に願って居ります。 この次にはぜひ参加したいと思ひます。

東京都 唐牛ウタさん

息子の転勤で二年間東京で過ごす事になりました。
帰りましたらまた、よろしく
お願い致します。

根室市 鈴木茅子さん

今は忙しい季節なので、申し訳ありません。欠席します。
今の所、体調も良く、日々暮らしております。
お仕事大変でしょうが頑張ってください。

旭川市 南 雪子さん

おかげ様で 元気に仕事をしております。

法島町 宮下 美枝子さん

みなさん、お元気ですか、いつもお世話になり、ありがとうございます。 これからもよろしくお願ひ致します。

函館市 三品 和子さん

術後1年5ヶ月たちました。今は、プレドニン10mg、×スチン1.5錠です。55kgが74kgになり、ダイエット中です。71.5kgまでなりました。DRに合うたびやせる様にいわれます。 がんばるゾー(ナゴ)
※伊藤さんは1ヶ月で1kg減量したそうです。
ガンバッテネー

札幌市 村山津恵

皆さま、おかわりなく、総会で「お目にかかれることを、楽しみにしてして、おりましたが、職場の行事、更に私事と重なり、本年は失礼させて頂きます。ご盛会で「なごやかな会」でありますことを念じます。

夕張市 山田知美

春休みに20日程眼科の方に入院しました。今までに4回ほど視力がおちていますので、視神経だけでなく、「多発性硬化症」ではないかと云われました。少し左足がおかしい時もありますし、ふらふらする時もあります。
神経内科で(11日)みてもらったら、はっきりすると思ひます。今更、こんな痛危で悩まなければならぬのかと苦しいです。……。子ども達は元気で小学3年と2才5ヶ月です。

みんなのひろば

赤平市 — 林麗子さん

家の中のことなど、頑張っていると、お父さんもお母さんもお元気で、お互い助けあって暮らしていられますようです。

皆さんによろしくとの伝言でした。(11月のお便り)

浦河町 — 宇野芳子さん

15周年記念号、役員のみみほ様始め伊藤さん奥さん(かすみさん)のご苦労様でした。

暮から1月下旬まで入院しておりました。

皆様とお会い出来るのを楽しみにしておりです。

伊達市 — 渡部サダエ

(難病センターへのお便りから)

体調が下りきみで声も出てくれません。ボールペンで書くことも、おまじな筆字にしました。痺れと突張りが、伴いますので思う様に書けません。二重に見えるので、自分でどこを書いているのか見当がつかず、(まじらしい達筆でコピーしたい位でした。)

西区 — 高橋 美津子さん

春になり、ほっとしています。次から次へと、花が咲き出し、気持ちまで春です。

でも痛いのが、ただ一つの悩みです。でも色々しています。いつもご苦労様です。



土曜町 — 和田良子さん

手術して3年目になりました。術後は順調に回復して、洗たく掃除等、できるようになり、病気と上手につきあって生活しています。

いつも「あなた」楽しみに読んでもらっています。

第16回 難病患者・障害者と家族の全道集会

您のおさそい

現在のところ参加申し込みが意外に少なく苦慮しております。どうぞ、ご協力、ご支援をお願いします。

一昨年全道各地からエトピリカ号で釧路に集まった感動の全道集会に引き続き、今年は十勝川温泉郷を舞台に開催されます。又、神秘の湖「然別湖」の観光も組み込まれています。

今までの全道集会に参加した方の感動の言葉は忘れることが出来ません。“生れてはじめて旅行をしました。”“生きている事のすばらしさをこんなに強く感じた事はありません。”

“旅行に参加して病気に対する自信がついた。”等、など……。

それと同時に、全道集会を通して開催地における医療・福祉面の向上に大きく貢献している事も見逃がすことが出来ません。

十勝にはMG患者の会員も少なく、全道から沢山の友だちが集まるのを心待ちにしています。自分のためだけでなく、明かるといふよき社会を築くための力の結集である事にも思いを致して、ふるってご参加ください。

特に十勝地区とその近くの方々には、万障お繰り合わせの上ご参加くださいますよう、お願いします。

全道集会の分科会では、筋無力症の分科会も開催します。
この分科会で次のように医療講演を行います。

「筋無力症と最新の治療法（血漿交換療法）について」

講師 国立療養所札幌南病院 神経内科

土井 静 樹 先生

土井先生は血漿交換については、この道の第一人者です。
MGの画期的な治療法に発展するであろうと注目されている血漿交換療法が、どこまで研究が進められたのか、そしてその将来の見通しは？ 心の躍る思いで講演が待たれます。

〈註〉

- 全道集会の内容については「H S K. なんれん No.46」の39ページをごらん下さい。
- 申し込みは「なんれん」に同封の黄色のハガキをご利用ください。×切期日は過ぎましたが、至急出していただければ、まだ何とかあります。
- 不明な点は 道難病連 または 友の会事務局長の東谷美智子（011-386-4560）までご連絡を。

友の会事務局からの
お知らせ



新会員のご紹介 -----よろしくね

○ 市川 カヨ T13生
さん

○ 村本 ミヨ T6生
さん

○ 都築 政之 T15生
さん

住所変更のお知らせ

本田美津子さん
(高はし)

—— あ と が き ——

- 全道集会のおさそいが急を要する事と総会の報告などで紙数に余裕がないために、お約束の医学誌からのコピーは次回にまわしました。おゆるしく下さい。（猪口）
- 久しぶりに発送の作業を手伝いました。印刷（東谷さんの役）が出来上るのを待ち乍ら、折りたたみ、口と手をせっせと動かして楽しく働いた半日です。（中道）
- ひどい雨で、家を出るのがおっくうでしたが、仕事をやり出すと結構元気が出てきました。しばらくお会いしてない方、事務所でお会いしましょう。（鈴木）
- いつもは折り込み製本のお手伝いだけでしたが、今回は秋田行きの原稿がきがあったので、ちょっときつかったです。でも皆さんの励ましに支えられて旅行できたこと本当によかったと感謝しています。（高田）
- 東谷さんの近所に住んでいて、いつも難病連でのお仕事のことを伺っておりました。それで今日のはじめてお手伝いをさせていただき、楽しく過ごさせていただきました。皆さまどうぞお体を大切にお過ごし下さい。
- いつものこと乍ら、振り出しにもどり印刷をしています。皆様お便り下さい。（東谷）

編集人 全国筋無力症友の会北海道支部
〒064 札幌市中央区南4西10
北海道障害センター内
TEL (011) 512-3233

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市北区北13西1 神原 義郎

昭和48年1月13日第3種郵便物認可HSK通巻第20/号

平成元年7月10日発行(毎月1回10日発行)

わだちNo. 70

1部50円